

子どもの貧困研究のフロンティア



定例学術研究会 ＜第 51 回＞

日 時：2025 年 11 月 26 日（水） 18:30－20:00

報 告：子どもの「体験」：一般市民の意識と格差の実態

報告者：阿部 彩先生

（東京都立大学 人文社会学部 教授/子ども・若者貧困研究センター センター長）

近年、子どもの「体験格差」が注目を集めています。書籍も刊行され、体験格差を縮小するために自治体や NPO が活動を活発化させています。しかし、そもそも、子どもにはどのような「体験」が必要なののでしょうか？また、「格差」はどれほど生じているのでしょうか？本報告では、まず、一般市民が考える子どもに必要な「体験」とは何か？という問いから始め、2024 年に行われた調査の結果も踏まえて、最新の研究成果をご報告します。

ハイブリット開催：

オンライン：ZOOM

対面：東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

（東京都千代田区飯田橋 3－5－1 東京区政会館 3 階 35 教室）

ZOOM 申込



[Zoom 申込フォームのリンク](#)

対面申込



<https://forms.gle/NhqkRY9zrUHASrnjZ>

お問い合わせ：

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail:rccap@tmu.ac.jp

（主催）東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター（共催）東京都立大学オープンユニバーシティ

（協力）公益財団法人 特別区協議会